



プロフィール 榎野 孝人 (かしのたかひと)

昭和38年生まれ。板宿小、飛松中、長田高、神戸大卒。リクルートを経て、アイ・エム・ジェイ社長に就任し株式会社上場、TSUTAYAやTポイントを展開するカルチュア・コンビニエンス・クラブ取締役、KissFM取締役を歴任。映画「るろうに剣心」なども制作。広島県庁や京都府庁で特別職参与として観光庁長官賞を2度受賞。神戸市長選では僅差で落選するも2015年兵庫県議会議員に須磨区から初当選。地域政党連絡協議会(地域政党サミット)代表も務める。

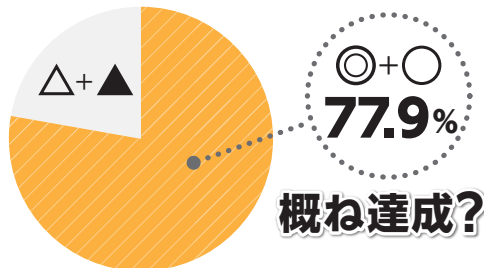
第341回 定例会 平成29年度 決算審査

◎と○が77.9%、総括「概ね達成」って本当ですか?

本定例会の重要議案は一般会計歳入歳出決算審査です。私は、決算が適正であったかという観点とは別に、税金を使った結果として成果が上がったかどうかという点をしっかりチェックしました。その中で、見えてきたものは...

地域創生が重点施策である平成29年度の「活力ある兵庫実現プログラム」の取組状況は、483事業の達成状況を◎、○、△、▲の4段階で評価しています。

- ◎... 目標を超えて達成【達成率100%以上】
- ... 目標を概ね達成【達成率90~100%】
- △... 目標をやや下回る【達成率70%から90%未満】
- ▲... 目標を下回る【達成率70%未満】



総括として◎と○が77.9%、この数字を聞くと何となく「よく頑張った」ように感じます。しかし、この483事業には「実施すれば達成」となる行動目標と、「実施した結果どういう成果が上がったのか」という成果目標が混ざっており、特に重要施策の成果について具体的にみると、とても満足できるものではありません。

以下の事業は本当に○? △や▲には...

項目	目標	結果(成果)	評価
出生数	44,000人	42,198人	目標を下回る 95.9%
合計特殊出生率	1.5	1.47	98%で目標に届かず
GDP	国 101.6%	県 101.0%	国を上回る成長率が目標だったが...
県内宿泊数	1,450万人	1,389万人	61万人足りない
自殺者数	900人以下	976人	
県内大学卒業生の県内就職率	31.6%	29%	
企業支援	185	169	累計も未達成
住まいの耐震化の改修補助戸数	521戸	484戸	
病院事業の損益	2億700万円の赤字	1億400万円の利益	
体感治安の向上	82%	76.1%	目標額の半分!
大学入試志願者倍率	7倍	6.6倍	

- 病児病後児保育施設数: 達成率31.8%
- 人口の転出超過数: 目標1,952人 → 結果6,657人
- 空き家活用助成件数: 達成率41.8%
- 結婚支援による成婚数: 目標200組 → 156組
- 待機児童数: 目標1,137人 → 1,988人に増加
- 特別養護老人ホームの床数: 達成率53%
- がん診療連携拠点病院数: 達成率0%
- 本社機能立地件数: 目標10件 → 半分の5件
- 潜在介護士の再就職支援: 達成率74.3%
- 中小企業育児・介護代替要員確保の支援助成件数: 達成率48%
- 外国人観光客数: 目標180万人 → 157.8万人
- スクールソーシャルワーカーを配置する中学校区数: 目標56校区 → 41校区
- 森林管理の間伐: 目標6,024ha → 3,282ha
- シカの捕獲: 目標45,000頭 → 37,676頭
- 新規就農者: 目標400人 → 279人

3倍以上も流出!

待機者数も未達成

22万人不足!

目標の約半分!

重要な施策がかなり未達成だと私は思います。

この状況で「約8割の事業が○、概ね達成できている」と総括して、今後10年が今の延長戦上で執行されるのではなく、危機感と緊張感とスピード感を持って、重要施策は必達してもらわないと兵庫県の未来が心配です。そんな考えで議案に反対しました。反対したのは私と共産党だけ。他党派は今のままで本当に良いと思っっているのでしょうか...

当局に対して追認議会と言われぬように、「言うべきことは言い、時には伝家の宝刀を抜く与会派」であってほしいと思います。



〈講師〉 喜多 徹人氏

不登校についての勉強会

9月のフリースクールの勉強会には25名の方にご参加いただき、大変有意義な会となりました。その中で感じたことは、不登校の原因の奥深さと対応の困難さです。しかし、その理解ができれば不登校の子どもと親御さんの希望を見出せることも感じました。今回は、神戸セミナー校長の喜多徹人さんをお招きして、不登校の原因と対応について、お話をしたいと思います。喜多校長は、これまでに18年間不登校児の大学受験に関わってこられました。これまでの経験に基づいた考えをぜひ多くの方に聞いていただきたいと思います。人数に制限がありますので、ご興味のある方は、是非お早めにご連絡ください。

ごあんない

日時/平成30年12月15日(土)13:30~15:30
 場所/神戸市西区区民センター 定員/30名 参加費/無料
 【お申し込みは】 info@kashino.net まで
 お名前、ご連絡先をご記入の上、メールにてお申し込みください。

次の10年 これでホントに大丈夫？

まだまだ、
しんどい！
兵庫県の
財政状況

行財政構造改革委員会で、この11年間の(平成20年から平成30年)の取り組みを審査し、次の10年の行革プランの策定を行いました。

これを私なりに整理し、ポイントをお伝えしたいと思います。

良かった点・がんばった点

- ① 年度決算が1,280億円の赤字から収支トントンに。
- ② 8,460億円あった震災関連県債残高が3,615億円に大幅縮小。
- ③ 職員数も10,664人から7,457人へ約30%も削減。



- ④ 給料も平成20年から7年間2.5%~7%カットを実施。(平成27年から段階的に戻しています)
- ⑤ 新規拡充事業2,219億円 一廃止した事業4,096億円 =▲1,877億円削減



全体的に「身を削る改革」をよく辛抱して頑張ったと思います。ここは素直に評価したいと思います。



問題点

新たに発行した借金退職手当債や行革推進債残高が約2,900億円も。

行政の収支均衡、いわゆる黒字は県債の発行が「収入」となるので、民間企業で考える黒字とは全く違います。操作できる「黒字」とも言えます。そういう意味では、本来「職員の退職金は支払い時期まで年度ごとに積み立てておくべきお金ですが、その積み立てができず、先送りの借金でまかない、それがこんなにも溜まってしまったのは大きな課題です。

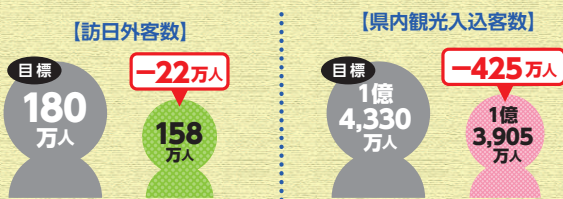


地域創生的に 心配な点

- ① 教員が236人減、警察107人減で現場は大丈夫？
- ② 年44,000人の出生数目標が平成29年は42,198人。
- ③ 人口を5,140人増やすつもりが、6,657人減少。



- ④ 訪日外客数も平成29年目標180万人に対して158万人、県内観光入込客数も平成29年目標1億4,330万人に対して、1億3,905万人と未達成。



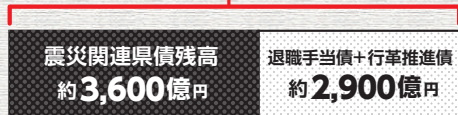
借金返済を頑張り、財政再建を軌道に乗せた反動というか、地域創生面の予算が充分ではなかった?ために、各種データが示す通り、他府県に比べ取り残され感が出てきています。しかし、今後大幅な増収が見込めるとは思えず、「少ない予算で大きな成果」を生み出す業務改革・生産性改革を従来とは違う知恵と工夫でやっていかないとはいけません。



財政上の積み残し課題!

- ① 震災関連県債残高約3,600億円と退職手当債+行革推進債約2,900億円の計約6,500億円を次の10年で返済しないとイケない。

計約6,500億円を返済!



- ② 臨時財政対策債を含んで4兆1,426億円ある県債高の削減。
- ③ 長期保有土地(3,055億円分)の売却や、企業庁の進捗調整地を県有環境林に戻す場合の用地取得や開発当時の経緯、責任の在り方の検証、時価評価額の透明化。
- ④ 10年前の計画時より実際には3,000億円も県税収入が減った現実を直視し、今後の10年も現実的な県税収入見込みによる財政フレームの構築。
- ⑤ 新たな自主財源の構築。

これだけ頑張っても借金返済をしても、まだ4兆円以上の県債残高です。県税収入は約8,000億円ですからその5倍の借金です。臨時財政対策債はそのうち国が返してくれるとはいえ、国も決して財政状況が良いわけではなく、いつルール変更があるかわかりません。臨時債は返してくれても地方交付金を減らされる可能性もあります。過去の課題投資のツケをまだまだ背負ってやりくりしないとイケない10年になるのは間違いありません。